

令和元年度 国立病院機構弘前病院研究倫理委員会 研究概要

委員会審議 令和元年5月16日

申請者	整形外科部長	秋元 博之
2019-1	日本人工関節登録制度への参加	
研究の概要	人工関節手術の正確な現状の把握、手術の成績の分析や検討に役立たせて、術後成績の正確性の向上と人工関節手術の質の向上を図ることを目的とする。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年5月16日

申請者	母子医療センター看護師	吉崎 真由美
2019-2	新生児蘇生の現状と実践力の向上維持に向けた継続的な教育の検討	
研究の概要	新生児蘇生の定期的なトレーニングをすることで新生児蘇生の実践力の医事につなげ、すべての分娩に新生児蘇生法を習得した医療スタッフが立ち会うことができる新生児蘇生教育体制が確立するよう検討する。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年5月16日

申請者	母子医療センター看護師長	長尾 愛佳
2019-3	子宮内胎児死亡を経験した妊産婦と家族の看護	
研究の概要	ペリネイタルロス(周産期に起こる胎児あるいは新生児の喪失)を経験した産婦とその家族のケアについて考察すること。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年5月17日

申請者	産婦人科部長	丹藤 伴江
2019-4	日本産婦人科学会周産期委員会周産期登録事業及び登録情報に基づく研究	
研究の概要	母体・胎児・分娩周辺に関連医学情報を登録し、収集されたデータを各年ごとに解析・集計することにより周産期領域における疫学的・医学的傾向を把握し、さらに原データを個票単位で蓄積・集積を行い、データベース構築することを目的とする。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年6月5日

申請者	臨床研究部長	石黒 陽
2019-5	当院における救急外来の現況について	
研究の概要	<p>輪番病院が直面する課題について、対応を強化するための根拠を探索、確立するための情報収集を行い、救急外来受診患者の入院ルート、治療内容、背景などについて解析する。</p>	
判定	承認	

委員会審議 令和元年7月19日

申請者	泌尿器科医師	成田 拓磨
2019-6	腎泌尿器疾患における糖鎖構造の変化に関する研究	
研究の概要	<p>糖鎖構造解析の手法を用いて、泌尿器疾患(良性腫瘍、悪性腫瘍、腎炎、腎不全、糖尿病、IgA腎症、腎移植、尿路結石、尿路感染症、不妊症)の発症や進展の危険因子となる糖鎖構造から、個々の患者の病因、診断、治療に対する反応性、進展予測や危険因子を同定し、将来的には泌尿器疾患の予防や治療方針決定に役立てる。</p>	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	中央手術室看護師	篠島 和美
2019-7	腹腔鏡下大腸手術での体位固定動作の検討	
研究の概要	<p>腹腔鏡下大腸手術の体位固定は、載石位または開脚位とし、両上肢を体幹につけて固定する他、手術台のヘッドダウンや左右へのローテーションに備えて、肩と頭部の固定が必要となる。通常、上半身の固定、開脚位の場合は菓子の固定も看護師が行っており、慣れていない看護師が行うと医師を待たせ、手術開始時間に影響するため、スムーズな体位固定動作を習得し標準化させ効率の良い体位固定を目的とする。</p>	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	5階病棟看護師	山田 紗央里
2019-8	看護師とリハビリスタッフの情報共有の現状分析と今後の課題	
研究の概要	5階病棟(整形外科)での週1回医師、リハビリ、看護師でカンファレンスを行い、情報共有を行っているが、医師とリハビリスタッフの情報共有が主体となっており、看護師とリハビリスタッフが直接情報交換する機会が少なくなっている。連絡・伝達忘れや申し送り不足により患者情報に差異が生じ、ADL拡大の妨げの要因の一つになると考えられる。そこでアンケートを通して看護師とリハビリスタッフの情報共有の方法や手段、考え方の相違について現状分析を行い、今後患者のADL拡大に向けて看護師とリハビリスタッフの情報共有のツールの作成に繋げる手がかりとする。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	3階病棟看護師	中畑 友香
2019-9	手指の汚染を知り、手指衛生の徹底につなげる	
研究の概要	パームスタンプを用いて看護場面での手指の汚染具合を知り、手指衛生に対する個々の認識が高められ、遵守率を向上させる。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	6階病棟看護師	平川 咲希
2019-10	片麻痺がある患者のQOLの向上につながる関わり方	
研究の概要	片麻痺がある患者のQOLを向上させる関わり方について考察するため。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	母子医療センター助産師	川崎 海生
2019-11	周産期メンタルヘルスに関する支援の妥当性の検討	
研究の概要	入院期間中にマタニティブルーズを経験した褥婦へ行った、周産期メンタルヘルスに関する支援の妥当性を検討する。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	中央手術室看護師	伊藤 聖奈
2019-12	術中から術後におけるシバリング予防のための援助	
研究の概要	手術中に保温をしても、手術中から手術が終了し病棟に戻るまでの間にシバリングを起こす患者がいるため、シバリング予防を行い、その予防による患者の術中の体温や血圧などの変化を調査し、予防法について学ぶ。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	6階病棟看護師	成田 理那
2019-13	全人的苦痛から考えた終末期のがん患者の看護	
研究の概要	がん患者が持つ全人的苦痛を理解し、疼痛緩和に向けての看護ケアについて示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	6階病棟看護師	澤田 彩花
2019-14	がん性疼痛により、ADL・QOL低下した患者への退院に向けての看護ケア	
研究の概要	がん性疼痛により、ADL・QOL低下した患者への退院に向けての看護ケアについて示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月26日

申請者	母子医療センター助産師	中村 優佳
2019-15	双胎妊婦への妊娠期から育児支援について	
研究の概要	双胎妊娠に対して、妊娠期から退院後に向けての家族を含めた育児支援について示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	3階病棟看護師	猪飼 こみち
2019-16	横行結腸穿孔により、緊急手術にてストーマ造設となった患者のストーマの受容から社会復帰への支援体制について	
研究の概要	緊急手術にて、ストーマ造設となった患者への退院後の支援体制や、自立したストーマケアの習得への有効的な関わり方を検討する。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	母子医療センター助産師	増村 彩
2019-17	初産婦・双胎妊婦への育児技術習得へのケア	
研究の概要	初産婦の双胎妊娠、かつ経膈分娩を希望される患者とその家族への育児技術習得へのケアについて示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	7階病棟看護師	工藤 ほのか
2019-18	咳・コントロール中の肺癌患者様との関わりから学んだこと	
研究の概要	咳嗽に苦しむ肺癌患者の咳嗽コントロール	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	7階病棟看護師	工藤 麻菜実
2019-19	麻薬使用により便秘となった癌患者に対する排便コントロールに関する看護	
研究の概要	麻薬使用により便秘となった癌患者に対する排便コントロール	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	7階病棟看護師	今 栞
2019-20	がん患者の病態の受容と意思決定を支える看護	
研究の概要	がん患者の病態の受容理解を支え、治療や入院生活を少しでも前向きな感情で取り組めるような関わり方。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	5階病棟看護師	谷 紗弥子
2019-21	人工骨頭置換術後の患者の転倒転落予防	
研究の概要	人工骨頭置換術を行った軽度認知症がある患者の安静度を守るためのケアについて示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	5階病棟看護師	辻 紋加
2019-22	術後感染症にて長期入院、再手術になった青年期の患者の看護	
研究の概要	術後感染症にて長期入院、再手術になった青年期の患者の看護について示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	5階病棟看護師	永井 桃子
2019-23	長期入院の患者における退院支援の関わり	
研究の概要	長期入院患者が退院していく過程での関わりを振り返り今後の看護につなげる。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	3階病棟看護師	畑山 知束
2019-24	高齢で手術を受けた患者の看護	
研究の概要	高齢で手術を受けた患者の看護について示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	3階病棟看護師	石岡 愛彩
2019-25	患者様が今後自分らしく過ごせるための援助	
研究の概要	癌終末期の患者が残りの生活を自分らしく過ごせるためのケアについて示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年8月30日

申請者	母子医療センター助産師	小畑 有香
2019-26	分娩誘発後に緊急帝王切開術となった産婦の精神面へのケア	
研究の概要	分娩誘発後に臨床的絨毛膜炎疑いとなり、緊急帝王切開術となった産婦のケアについて示唆を得る。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年11月25日

申請者	7階病棟看護師	小野 夏未
2019-29	認知症高齢者との関わりで抱える看護師の感情～高齢者増加してきている病棟の看護師を対象とした質的分析～	
研究の概要	認知症高齢者が一般病棟に入院するケースが今後ますます増加すると予測されている中で、看護師の身体的・精神的苦痛が生じている。一般病棟においても介護の現場で取り込まれているケア方法を導入するため、認知症高齢者と看護師の相互行為の振り返りとその要因を検討し、看護師が抱く困惑感の現状を明らかにし、対策方法を考える。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年11月25日

申請者	主任栄養士	伊藤 菜津貴
2019-30	施設間・地域連携が必要な疾患の急性期(一般)病棟における栄養管理～エビデンス構築のための全国調査～	
研究の概要	施設間連携及び一定期間のリハビリテーションが必要な疾患である運動器疾患について、一般病棟入院中の栄養状態・栄養管理の実態を明らかにし、具体的な栄養素等の量を提示することによって、一般病棟に於ける目標栄養量等を設定する際の参考資料として活用する。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年11月25日

申請者	外来看護師	嶋田 修子
2019-31	小児科外来診察時の有効なディストラクションツールを実態調査する	
研究の概要	小児科外来で、児が余計な恐怖心を感じず診察を受けるための有効なおもちゃを調査する。	
判定	不承認	

委員会審議 令和元年11月25日

申請者	整形外科部長	秋元 博之
2019-32	日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究	
研究の概要	運動器疾患の手術に関する大規模データベースを作り上げ、治療前、治療中、治療後の検査結果などをデータ分析することにより、病気の原因の解明やよりよい治療方法の開発に役立てようとする。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年11月25日

申請者	産婦人科部長	丹藤 伴江
2019-33	【医療倫理】乾燥ヒトフィブリノゲンの保険適用外使用について	
研究の概要	妊産婦死亡の原因は出血の割合が高く、出血すると急激にしかも大量に起こるため、可及的速やかにフィブリノゲンの補充が必要であるため、保険適用外使用が必要。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年12月23日

申請者	6階病棟看護師	柳田 奈緒子
2019-34	無菌室入室時の患者に対する看護師の指導状況の実際	
研究の概要	無菌室入室時の患者のストレスを最小限に抑えるため、看護師の指導状況を明確化し、今後の指導内容の充実を図ることを目的とする。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年12月23日

申請者	看護教員	前田 美佐子
2019-35	卒業生の看護実践能力の評価と教育課程の検討	
研究の概要	卒業生の就職後の看護実践能力を評価し、教育課程の見直しや教育内容の改善に活かす。将来的には、カリキュラムへ反映させるため、継続して卒業生の状況を把握するシステムの構築を目指す。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年12月23日

申請者	消化器・血液内科医師	山下 覚
2019-36	【医療倫理】ヨードアレルギーを有する患者に対するガドリニウム造影剤を用いた胆道検査・治療	
研究の概要	ヨードアレルギーを有する患者に対し、アレルギー反応を予防する目的で従来のヨード造影剤ではなく、保険適用外のガドリニウム造影剤を用いて内視鏡的逆行性膵胆管造影を施行する。	
判定	承認	

委員会審議 令和元年12月26日

申請者	臨床研究部長	石黒 陽
2019-37	潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の治療効果予測因子としての温感・皮膚温の意義に関する研究	
研究の概要	潰瘍性大腸炎難治例の治療法である血球成分除去療法(CAP)治療時の温感の有無の確認とともにCAP施行時の皮膚温の変化を測定し、その後の治療効果と比較することにより、CAP治療時の温感・皮膚温の変化がCAPの治療効果予測因子となりうるかを検討し、今後の診療に活用する。	
判定	承認	

委員会審議 令和2年1月29日

申請者	産婦人科医師	飯野 香理
2019-38	当院における早産症例の検討	
研究の概要	組織学的に診断された絨毛膜羊膜炎と児の先天性感染症を母体情報から予測できるか否かを検討する。	
判定	承認	

委員会審議 令和2年3月17日

申請者	臨床研究部長	石黒 陽
2019-39	クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡とMR enterographyの比較試験：国内他施設共同無作為前向きランダム化比較試験progress Study 2	
研究の概要	平成30年3月12日付承認された、標記研究課題に係る一部変更。	
判定	承認	

委員会審議 令和2年3月30日

申請者	母子医療センター看護師	山内 祐子
2019-40	母乳分泌促進への関わり～産褥期のアロマフットバスの使用検討	
研究の概要	母乳分泌促進への関わりをすることで、退院時～2週間健診の母乳率向上へつなげる。	
判定	承認	

申請者	医療安全管理係長	白取 彩香
2019-41	転倒のリスク判定に対する看護師の判断基準の実態調査	
研究の概要	看護師が適切なアセスメントを行い、転倒転落予防用具を適切に使用することで転倒転落防止対策が図れるよう対策を実施し、効果を確認する。	
判定	承認	